



学校だより

開く つなげる ともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

令和4年4月30日
横浜市立豊田小学校
5月号

どこまでも希望をもって生きる

学 校 長

昨年の4年生（現5年生）の「書写」の最後の時間の場面です。この一年間を振り返って、漢字一文字で書いてみよう、その理由もあわせて、みんなの前で発表する機会がありました。それは、2月下旬、ウクライナ侵攻が始まってから、3月中旬のことでした。



「生」と書いた児童は、その理由として、次のように書いていました。「コロナやウクライナの戦争で、生きることがどれだけ大切なのかを知ったからと、平和な生活がとても幸せなことだということを知ったからです。」

この「生」という一文字が、圧倒的な迫力で、私の心に響いてきます。

また、「平」と書いた児童は、「コロナが終わって、前みたいに平和なくらしが出来るように。」と願いを込めて書いています。また、「前」（前向き）と書いたもう一人の児童は、その理由を、前向きにがんばれるという意味で書いたことやポジティブな気持ちになりたいと自分の思いを綴っていました。

今、世界が、大きく揺れています。長引くコロナ禍、武力紛争や気候変動など混迷を深めています。この激動の時代を生き抜く次代を担う子どもたちは、それでも心に希望を抱き、前を向いて平和に生きることを切に願っています。

今、必要なのは、そんな子どもたちと一緒に、希望と勇気をともにつくりだす教育の営みなのではないかと思うのです。

そうした中、6年生の子ども達有志が4月20日のテレビ朝会で エス・ディー・ジーズ S D G s

（持続可能な開発目標）について調べ始めたこと、そして、貧困や不平等、飢餓や気候変動など世界共通の17の目標について発表しました。

私は、次の言葉を全校児童に贈りました。

「今、できることを、今しかできないことに、全力で挑戦していこう。」と。
頑張れ！豊田っ子！世界は、君たちが、活躍する日を待っています。